

議会だより



赤ちゃんと中学生の交流体験

(チャイルドホームにて)

147号

平成30年8月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868)36-4191

【おもな内容】

- 6月議会で決まったこと 2 ~ 3 ページ
- 一般質問（5名） 4 ~ 8 ページ
- 常任委員会報告 9 ページ
- 特別委員会報告 10 ページ
- 臨時議会・災害視察他 11 ページ
- 各種研修報告・編集後記 12 ページ

トプレイス(王将跡地) 契約を議決

6月定例議会は、6月12日から22日までの11日間行われ、**条例4件、補正予算4件、報告1件、同意1件、契約1件、陳情5件、その他2件**、計18件を審議しました。

『条 例』

○奈義町税条例の一部を改正する条例

国の法律改定により、中小企業の設備投資に対する税を免除するものです。

○奈義町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の法律改定により、包括支援センターの主任介護支援専門員に対する規定を改正するものです。

○奈義町営住宅条例の一部を改正する条例

同居者が引き続き入居を希望する場合、暴力団員は承認しない事を明記

し、また、認知症等の入居者がある場合、収入の申告などに特例を設けるものです。

○議会委員会条例の一部を改正する条例

役場の機構改革で、情報財政課が誕生したことにより、議会の常任委員会の所管を明記するものです。総務常任委員会の所管としました。

(以上、全員一致)

『補正予算』

○一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ、総額44億7600万円となりました。

歳入の主なものは、

議員から、パイロットキッチンの周辺整備事業の補正予算是、建物と地面との段差がある、トイレがちゃんとなつていらない等々、計画性がなく、ずさんであると思うがどうか等々の質問がありました。採決の結果、賛成多数で可決されました。

その後、反対討論（森藤、桑村議員）、賛成討論（鷹取、芦田、安藤議員）があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。

町債が、6800万円、基金繰入は、1672万円の減額です。

歳出の主なものは、

基金費（特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金積立金）が、7000万円、

パイロットキッチン周辺整備事業費1000万円、小商いマーケットトプレイス事業費が、3200万円の減額などです。

議員から、パイロッ



整備が予定されているパイロットキッチン周辺

6月 定例議会

平成30年
6月12日～22日

小商いマーケット 周辺工事

- 賛成6、反対3
○介護保険特別会計補正予算

介護保険の2割負担が3割負担になる人があり、そのためのシステム改修費用95万円などです。

- 奈義町下水道特別会計補正予算
(以上2件は、全員一致)

『報告』

- 平成29年度津山圏域東部衛生施設組合清算特別会計繰越明許費報告について
施設解体撤去事業のうち、1億3812万円を、平成30年度に繰り越すものです。

『同意』

- 奈義町固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意を求めることがあります。

芦田 潤治氏
(柿・68歳)

『その他』

行われました。その結果、

- 控訴の提起について
敦賀市から焼却灰の問題で訴訟が提起され、

第一審の判決が出されました。それが、敦賀市が不服を申し立て、控訴しました。それに応じて、旧津山圏域東部衛生施設組合側も控訴する手続きです。

議員から、和解の話ではないのか、との質問があり、裁判所から和解の話があるが、どうなるか分からぬ状況である、との答弁がありました。

- 所管事務の調査について
(以上、全員一致)

- 小商いマーケットプレイステンション工事請負契約の締結について
固定資産評価審査委員会委員について同意しました。

小商いマーケットプレイステンションの周辺整備に関する契約案件です。3社による指名競争入札が

- 契約金額
1億2744万円
○契約の相手方
森安建設株式会社

議員から、この施設について、町民の理解と合意は得られているのか、維持費はどうなるのか、等々の質問がありました。維持費は、年間1300万円との回答でした。

反対討論(森藤議員、賛成討論(桑村、中井、芦田議員)があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。
(賛成8、反対1)

『陳情』

陳情5件の審査結果については、次の通りです。

- 要望書(新しい「中学校」及び「保育園等」の建て替えについて)
- 要望書(中学校の建て替えと幼保一体型こども園の整備について)
- PTA(保護者)の思いを正確に受け止めて頂く事をお願いする陳情書
- 畜産施設周辺環境における悪臭規制に関する要望書
- 町道認定陳情書〔成松59番地1地先(町道中野線)～成松56番地5地先(町道宮内成松線)〕

6月議会での陳情審査の結果

陳情名	提出者	結果
要望書(新しい「中学校」及び「保育園等」の建て替えについて)	各PTA会長	不採択賛成5、反対4で不採択
要望書(中学校の建て替えと幼保一体型こども園の整備について)	各PTA有志	採択賛成7、反対2で採択
PTA(保護者)の思いを正確に受け止めて頂く事をお願いする陳情書	各PTA有志一同	採択賛成7、反対2で採択
畜産施設周辺環境における悪臭規制に関する要望書	奈義町区長会会長	全員一致で採択
町道認定陳情書〔成松59番地1地先(町道中野線)～成松56番地5地先(町道宮内成松線)〕	成松地区長	全員一致で採択

未来に向けて

5名が一般質問

Q 認知症への対応は

A 総合的な支援で



安藤 榮一 議員



雑木の伐採が待たれる名義川（金剛団地西側）

質問 高齢化とともに認知症の患者が増えると予想され、その対策について伺う。

答弁 町長 認知症の早期発見と症状の把握をし、介護、医療など必要な機関が連携して支援に努めていきたい。

質問 岡山県が管理する滝川・名義川敷の樹木伐採を要望しているが、その後はどうなっているか。

答弁 町長 河川を管理する岡山県に今後も強く要望していきたい。

Q 河川敷地の樹木の伐採を
A 県に強く要望する

質問 小学校の道徳の授業が正規の教科になり、教科書を使った授業が始まっている。道徳の重要性についてはどうか。

答弁 教育長 いじめ対策の一つとして、道徳教育の重さは一層増してきている。

Q 道徳の重要性は
A いじめ対策として

質問 高齢ドライバーによる交通事故が各地で発生している。事故防止の対策の強化について伺う。

答弁 町長 町内の各地区で交通安全教育や啓発活動を実施している。高齢運転者マークをつけることを強く推進し、運転免許証自主返納支援事業を積極的に周知し、交通事故の防止対策の強化を図っていきたい。

Q 高齢者ドライバーの交通安全対策は
A 対策強化を図る

Q 町長の公約は達成されているか



岡部 英生 議員

A 町を残す、強い気持ちをもって行政運営に取り組む

質問

町長は7項目の基本施策と「活力と笑顔あふれるまちづくり」をスローガンに、公約実現のため、強いリーダーシップとの確な決断で今まで町発展のかじ取りをいただいているところであるが、町長に就任されて3年5カ月が経過した。現在、どの程度まで達成されたか伺う。

答弁 町長 単独町政を選択した原点に、常に立ち返り、行財政改革を推進する。

奈義町まちづくり総合計画との実施計画にあたる奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、国の地方創生事業の活用を図る。今後、中学校とこども園建設の大型事業に特化した財政運営となり、行財政改革に取り組む。財源となる補助事業の採択を目指し、有利な地方債の活用を行う。奈義町を残す、強い気持ちをもつて行政運営を行う。任期の区切りとして、今行っている事業をできるだけ完結したい。

課題は、奈義町有史以来



工事が進む小商いマーケットプレイス広場



建て替えが望まれるチャイルドホーム

の大事業である中学校、こども園建設をいかになし遂げるか、また折り返しを迎えた地方創生事業を完結させ、本町の将来に結びつけていくか、重要な時期に差しかかっており、町民皆様の深いご理解とご協力をいただきながら、各種事業を進めたいと考えている。

質問

中学校・こども園の園の基本構想の中身は施設整備の諸条件を協議する

Q

中学校・こども園の建設に向けて施設整備の基

本構想検討委員会を設置されたが中身について伺う。については、現敷地での建設と施設隣接型小中一貫教育を取り組み、町の特色ある教育の推進を視野に入れる。こども園は、就学前に係る保育、教育体系に資する施設整備、幼保一元化などについて検討する。

答弁 教育長 中学校につ



Q ナギフト包括連携協定とは



中井 泰洋 議員

A 活性化・発展に寄与すること

質問 町内の加盟店でのナギフトカード利用状況、町外者カードの発行枚数は。

答弁 町長 カード利用の

Q カードの発行利用率状況は
A 今後も益々増え
ることを期待

健康づくりや地域活動、生涯学習活動等への参画を促すとともに、交流人口・関係人口の増加や地域経済の活性化を図り、自分のためだけでなく、他者のためになり、「人を育てる」ことを理念として創設するナギフト制度について、その趣旨に賛同し、相互に連携・協力して、将来にわたり奈義町全体の活性化・発展に寄与することを目的に締結したものである。

加盟店、商工会と町は、「ナギフト制度の維持発展に関する包括連携協定」を結んでいるが、その目的は。

答弁 町長 町民の自発的な健康づくりや地域活動、生涯学習活動等への参画を促すとともに、交流人口・

加盟店でカードを利用された件数は、約19000件となっている。現在も、積極的に町外者カードの発行を行っている。町も、東山工業団地、陸上自衛隊日本原駐屯地の町外通勤者に発行して頂けるよう依頼しているので、今後、益々カード利用者が増えるものと期待している。

Q 今後の維持発展は
A 繼続的にまちの元気を創っていく

工場地、陸上自衛隊日本原駐屯地の町外通勤者に発行して頂けるよう依頼しているので、今後、益々カード利用者が増えるものと期待している。

Q 町長の感想は
A 目的達成のために
情報発信を強化

質問 今後の制度の維持や発展について現時点での考えは。

答弁 町長 まちづくり総合計画や総合戦略で掲げた目標である「町の活力と、産業の力を保ち、持続可能な奈義町を創造していく」

ため、人口減少に歯止めを

心を持つている。他の自治体の反応や評価はどうか。

答弁 町長 地域プレミアム商品券の電子化、電子マネーを導入することなど、注目を浴びている。県知事

が出席する幹部会で、先進事例として紹介されたところ、大変高い評価を受けたとのことである。

Q 他自治体の反応は
A 注目を浴びている

かけ、将来を担う子ども達のためにも、このナギフト制度を活用して、『まちの元気』を創って行きたい。本協定の期間である10年間はもとより、継続的に、このナギフト制度を関係機関とともに守り、発展させていくことが重要である。

質問 外部の評価や意見などに関して、現時点での町長の率直な感想は。

答弁 町長 今後も益々充実させ、本来の目的である「健康づくり、地域活動の活性化、ボランティア促進、子育て応援、教育・人づくりなど」が、達成できるよう、頑張りたい。

Q 行政ポイントの拡充は
A 見直しは必要である

質問 町民の意見を聞きながら、行政ポイントの対象を、拡充してはどうか。

答弁 町長 提案の趣旨には、同感である。町民の方々の意見やご要望を幅広く聞き、付与状況なども見ながら、見直しする必要がある。行政ポイントの趣旨や、ポイント制度の幅広い活用と、浸透のために、今後も、積極的に検討していく。

Q ナギカラ主導の町づくりは大丈夫か



森藤 政憲 議員

A 職員ができる分野は職員で

くりは大丈夫か。
地域再生推進法人に認定した経緯に疑問がある。他の多くの自治体には認定するにあたっての取扱要綱があるが、奈義町はない。また、法人の人員体制の充実が認定条件にあるが、当時、社員はたったの3人である。一方、申請があった日と認定し告示した日が同じであり、きちんとした審査が行われたとは、到底思えない。審査の記録もない。

“ナギカラ先にありき”ではなかつたのか。説明を求める。

答弁 町長 地域再生推進法人の業務に照らし合わせて内部検討し、ヒアリングも行い確認したもので、決して審査に不備があったとは考えていない。

人口減少問題の上でも、地方創生事業は重要と考えているが、職員ができることは職員でしつかり進める、そのさび分けをしながら、取り組んでいきたい。

Q 一泊二日で200万円。お金の使い方が“半端ない”とは言えない

質問 ナギカラの事業は、一泊二日の子どもの合宿に、200万円も使ったり、奈義町が事業主体の、ナギフトカードの町外用を、到底使う事ができない、2万枚作製するなど、町民の感覚からかけ離れた事となっている。どういう事か。こんなお金の使い方をするようでは、奈義町のまちづくりはうまく行かない、と思うが。

答弁 町長・担当課長 一泊二日の合宿については、ワオ・コーポレーションと東京学芸大学に委託した。最先端の教育を受ける機会となり、一概に高いとは言えないと考えているが、今後精査していきたい。

Q 火葬料金への助成を検討したい

質問 県下の火葬料金を調べると、奈義町は高い。県下の平均は、1万5000円程度だが、奈義町は、津山だと5万円、勝央町だと、3万円である。何らかの助成をして、他町並みにする必要があるのではないか。

答弁 町長

勝央町の火葬場の改修とも関連し、勝央町とも協議し、料金の負担軽減策については検討している。また、炉の改修が数年先になるような場合は、それを待たずにして、助成を検討しなければならないと思っている。

質問 カードの町外者用の2万枚については、商工会の皆さんやプロジェクトチームが相談し決めた経緯がある。その意見を充分に取り上げた所である。



奈義町民の利用が多い勝央町長尾山斎場（火葬場）

Q 中小企業・小規模企業 振興基本条例の制定を



芦田一郎議員

A 9月定例議会に提出予定

質問 平成26年に、国が小規模企業に焦点をあてた「小規模企業振興基本法」を制定し、小規模事業者が地域を支える存在として期待されていることが明確にされた。

また地方公共団体においても、小規模事業者の振興に関する施策を策定・実施する責務を有すること、また関係者が相互に連携を図りながら協力するよう努めなければならぬことが明記された。

この条例は、理念条例的な部分もあるかと思うが、町民の利便性や社会基盤を下支えしている零細企業も大切にし、次世代のため、関係団体や町民が一体となって奈義町の持続的な発展を目指す姿勢を示すことも大切であると思うが、どうか。

答弁 町長 中小企業者及び小規模企業者、作州津山商工会、町民及び町の役割を明らかにし、町民の暮らしと調和した地域の産業及び経済の発展並びに町民生活の向上を目的とする奈義

町中小企業及び小規模企業の振興に関する基本条例を9月定例議会に提出する予定である。

Q 自転車通学の生徒への配慮は

A 危険性が、怖さが少しでも感じなくなるように努めたい

質問 奈義トンネルは昭和20年代～30年代の設計、施工で、歩道は狭小であり、薄暗い。

通学路の安全確保のためにも、状況改善に向けて検討する必要があると思うが。

答弁 町長 危険性が少しでもなくなるように、怖さも少しでも感じなくなるよう努めていきたい。



自転車通学には怖い奈義トンネル

委員会報告

早くしつかり発信をして
ほしい。

図面が描けない。30年度に1期買収をして事業を進めていく。

調査をし、町道に認定する
陳情を全員一致で採択することとした。

答…議会町長部会とは連絡を密にする。

これまでに規制を受ける側の畜産関係者や、提出者

職員採用は？

総務常任委員会

6月6日 所管事務の調査を行つた。主な質疑は次のとおり。

問 小規模ソーラー発電の問い合わせ
答 届出については、現状では、造成が千m²未満は届出は不要である。
問 情報発信の担当者を各課に配置したのだから、

受け入れている。
問　..福祉バスのドアツード
アの利用条件は。

まちづくり・文教常任委員会

6月7日、執行部及び担当課長出席のもと、委員会を開催し所管事務の調査を行った。

特産品は？

問・ナキアトカリ
ドは商工業者が
努力している。もっと理
解を広めて欲しいが、ど
うか。

しても再発行ができる
問..ビジット奈義のお土産
開発で完成しているものは。
答..奈義の特産品である白
ネギ、里いもを使つたイ

の増加と テレシーラの開
店の影響もある。



町道認定の現地調査（成松地内）

うことが一致した意見だった。提出者の区長会も、畜産関係者が廃業に追い込まれることの無いよう、配慮もあるという意見だった。町執行部に対して「畜産のまちである奈義町は、今後も畜産業と共に存共栄していくため、実状を踏まえた対応と畜産業の継続が阻害されないことを希望する」という意見を付して採択（全員一致）とした。

次に付記されていた
町道野中線と町道下宮内成
松線の間を、町道に認定を
求める陳情書の審査を行つ
た。現地で成松地区長、地
域整備課長立ち合いのもと、

実状を踏まえた対応と畜産業の継続が阻害されないことを希望する」という意見を付して採択（全員一致）とした。

保育園、幼稚園、中学校 今後の在り方調査特別委員会報告

4月26日、委員会を開催した。大きな地震に耐えられない中学校と、狭く使ひ勝手の悪い保育園の建て替えを早急に進めるため、次の2点を確認した。

1、中学校は、今ある位置で建て替える。

2、保育園と幼稚園を合わせた認定こども園を一園建設する。

この2項目を賛成多数で確認した。

次に、付託されている3件の陳情に結論を出すことを決めた。

長く継続審査となつてい
ることもあり、提出者に対

応の遅れを陳謝した上で、改めて現段階での意思の確認をしようということになった。正副議長が担当するこ

校」については、保護者全員が賛成しているわけではないことを知って欲しい。認定こども園は、小学校に近いところであれば、送迎

またこの委員会の目的は達せられたのではないかと
いうことで、これまでの議論や視察・研修について
整理を行い、9月議会で報告し、保育園・幼稚園・中学校
の今後の在り方調査特別委員会を解散することを決
定した。

● P T A有志一同代表・要
井さん提出の陳情の審査を行った。審査の結果、採択となつた。

● P T A 有志代表・持田さん提出の要望書の審査を行つた。審査の結果、採択となつた。

●各PTA会長連名の要望書は、施設一体型の小中一貫校の建設を望むことが含まれており、この点が問題となつた。審査の結果、不採択となつた。

も便利で一園で良いと思う。良い方向に行くなら、お金をかけても良いと思うとのことだった。



検討が始まった中学校建設の委員会

議会が豪雨災害を調査



このたびの豪雨で
被害にあわれた方
に心よりお見舞い
を申し上げます。

7月11日、奈義町議会はこのたびの豪雨災害の被害の調査を行いました。

●被害状況（7月12日現在）

家屋被害	3件
道路規制（通行止め）	6件
道路規制（片側通行）	2件
公共土木災害	18件
農地災害	35件
農業施設災害	13件
その他	70件
合 計	147件



臨時議会報告

第1回臨時会 4月10日

《補正予算》

○一般会計補正予算

歳入歳出に、それぞ
れ980万円を追加し、

総額44億2180万円

となりました。内容は、

中学校建設、認定こど
も園建設に向けて、教

育委員会の中に準備室

が設置されましたが、

それに伴う、人件費や
その他の経費です。

議員から、議会が移
転について、まだ態度

を決めていないのに、
予算を出すのはどうか
等々の質疑がありまし

た。
反対討論（桑村議員）、
賛成討論（森藤議員）
があり、採決の結果、
賛成多数で可決しまし

た。

（賛成5、反対3、欠席1）
《報告》

○専決処分の承認について （奈義町税条例等の一部 を改正する条例）、（奈義 町国民健康保険税条例の 一部を改正する条例）に

ついては、国の法律改
定によるものです。

○専決処分の報告について （奈義町広報委員会設置 に関する条例の一部を改 正する条例）

情報財政課の設置に
伴うものです。

平成30年度町村議会 議長・副議長研修会

5月28日、東京国際フォーラムにて開催された全国町村議会議長・副議長研修会に参加した。研修会では、山梨学院大学院教授、江藤俊昭先

生による「町村議会議員の議員報酬のあり方」などの講演を聴講した。どの議会も、報酬や定数、若者の参加等については課題をかかえており、参考になる話が聴けた。今後の活動に生かしていきたい。

勝田郡議会議員協議会総会



全議員が出席した総会の様子

5月23日、
勝央町共同福祉施設「丘の上」において
総会を開催しました。奈義、
勝央両町議員全員が出席し、各事業報告、

収支決算報告等を審議しました。今年度は、研修会を8月24日に予定し、前全国都道府県議会議長会議事調査部長、内田一夫氏を講師としてすることを決定しました。その後、両町の主な事業について意見交換を行ない閉会しました。

7月5日、市町村振興センターにおいて、町村議会議員研修会が行なわれました。
研修内容は、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授、新川達郎氏による「議会の危機管理」、ジャー・ナリスト、須田慎一郎氏の「これからの中政局・政治展望」でした。

議会の危機管理について
は、災害に向き合う議会として、今後議会としても防災に対する対策が必要になつてくるとの話がありました。



須田慎一郎氏による講演



滋賀県多賀町より16名の視察

視察がありました

- ①4月25日、大阪府忠岡町議会より、10名の視察があり、子育て支援、まちづくり戦略について。
②5月14日、千葉県柏市議会より、1名の視察があり、少子化対策について。

③5月31日、静岡県議会より、1名の視察があり、子育て支援について。

④7月4日、滋賀県多賀町議会より16名の視察があり、子育て支援について。
それぞれの議会視察に対し、意見交換を行いました。

奈義町内の被害も多数あり、「全国小さくても輝く自治体フォーラム」の参加をとりやめ、町内の被害確認を行いました。今後の早い復旧を願うばかりです。

(芦田一郎)

【編集委員】
議長 小阪井 中岡 委員長 委員長
副委員長 芦田 森藤 岡部
四泰洋立 政憲英生郎
郎

編集後記

平成30年7月、豪雨のニュースが入って来る中での編集でした。